

IntrameriT の使用制限文字列について

IntrameriT には使用できない文字列があります。指定の使用制限文字列を使用するとブラウザ上で、「?」と表示されるなど予期しない現象が発生します。

1. IntrameriT の一般的な機能における使用制限文字列

「"」、「'」、「¥」は IntrameriT 内で正しく扱えない可能性があります。

各データベースにおける使用制限文字列

データベース	使用制限文字列
Oracle	~
Linux-postgreSQL	~ (全角ハイフン)

1-1. Oracle の場合

Oracle 環境では「~」の文字列が使用できませんが、下記環境であれば「~」が表示可能となります。

Oracle9iDatabase リリース 2 の場合(9.2.0 以降)はデータベースで使用しているキャラクタセットを IntrameriT で現在使用している JA16SJIS から JA16SJISTILDE に変更することで「~」を表示することが可能になります。ただし、データベースの移行作業を行う必要があります。Oracle9i Database リリース 2 よりも前のバージョンの Oracle(9.0.1 または 8.1.7 以前)を使用している場合にはデータベースのキャラクタセットを JA16SJISTILDE に変更した場合、データベースに接続するクライアント (MC コンソール等がインストールされている端末)側でも必ず対応してください。(Oracle9i Database リリース 2 移行あるいは Oracle9.0.1.4.0 以降)

利用形態	使用制限文字列
サーバ	Oracle9i Database リリース 2
クライアント	Oracle9i Database リリース 2 以降あるいは Oracle9.0.1.4.0

2 . IntrameriT のメール通知機能における使用制限文字列について

IntrameriT のメール通知機能ではメール本文の文字コードに、「ISO-2022-JP」を指定しています。「ISO-2022-JP」はメールサーバ環境、メールソフトの種類に依存することなく日本語メールを送信するためにつくられたものであり、インターネット・メールで日本語を扱う場合の事実上の標準となっています。

つまり、通常のメールで使用できない文字列に関しては IntrameriT のメール通知機能でも使用することができない、ということになります。具体的に以下のような文字列を使用するとメール通知時に文字化けが発生します。

例. ,ミ, (株)

しかし、通常のメールでも IntrameriT でも使用できる文字列が、IntrameriT のメール通知機能によるメールで文字化けが発生することがあります。

これは Java のプログラムに文字列を受け渡すときに Unicode に変換するときの処理と、Java のプログラムから出力する文字列を Unicode から ISO-2022-JP に文字列を変換する処理に、一部の文字列で不整合な変換が行われることによるものです。具体的には以下のような文字列を使用するとメール通知時に文字化けが発生します。

例. - (全角ハイフン), ~

文字化けが発生した際には、恐れ入りますが変わりの文字を付け運用して下さるようお願いいたします。

以上